

神戸大学対校戦報告

# 関西インカレ

4/22,5/14~5/17



## 目次

- 主将コメント
- 関カレ全体結果
  - 男子
  - 女子
- パート報告
  - 短短パート
  - 短長パート
  - 中距離パート
  - 長距離パート
  - フィールドパート

## 主将コメント

### 主将吉田峻一

お世話になっております新 64 回の吉田峻一です。第 92 回関西インカレの結果等の報告をさせていただきます。

総合としては男子 4 位 61 点、女子 10 位 27 点という結果であり、どちらも一部昇格、8 位入賞という目標は達成できませんでした。男子は 2、3 位との差がかなり開いてしまい力の差を感じさせられ、女子も京都教育大との点差を縮めることが出来ずまた順位という点で満足いく結果とはなりません。非常に悔しい結果となってしまいましたが来年度以降は是非ともこの差を埋められるよう努力していきます。今回の大会を詳しく述べさせてもらおうと、2、3 回生の若手が躍動していましたように思われます。またその他多くの自己新、標準切りと来年度以降とても期待の出来る記録を残してくれたというのも事実です。しかし一部昇格のためにはもう一段階も二段階もトラックフィールド共にレベルアップしていかなければなりません。是非 OB・OG の皆様は今年の神大の各記録をご覧になって来年と言わず夏の対抗戦から注目して見てください。神戸大陸上部の部員はいま 90 名に迫る人数となり、今一番飛躍できるポテンシャルを持ったチームです。近いうちに目標を達成してくれるでしょう。最後になりましたがこの 5 日間 OB・OG の皆様、応援サポート等ありがとうございました。引き続き目標に向かって邁進してまいりますので今後とも御指導御鞭撻の程よろしくお祈いします。



主将 吉田峻一

## 女子主将 西田文香

新 64 回生西田文香です。女子主将を 1 年間させていただきました。

先日程われました関西インカレで女子は 27 点、総合 10 位という結果で、目標としていた 8 位入賞には届きませんでした。期待して結果を楽しみにしてくださっていた OB,OG の皆様に、いい結果を報告出来ず申し訳なく思っています。

今年の 8 位が東大阪大の 40 点。まだまだ 8 位入賞というのには実力不足でした。女子は男子と違い、1 部 2 部に分かれていません。決勝に残ろうと思うと、種目にもよりますが全日本インカレ B 標準くらいが目安になると思います。表彰台に乗ろうと思うと全日本インカレ A 標準、または日本選手権 A 標準くらいの実力が必要となってきます。

来年度以降もきっと、関西インカレで女子としての目標を掲げてこれからやっていってくれるはずなので、このことをもっと意識させて来年度以降に活かしてもらいたいと思っています。

女子部員も現在マネ 8 名、選手 21 名の合計 29 名所属しています。各パートに 2 名以上所属しており、どのパートも確実に実力を伸ばしてきております。

1 年間、男子に負けないように、女子の存在感を出すことを目標に取り組んできました。少しは、女子も頑張っていることを知っていただけたのではないのでしょうか。これからもドンドンと、関西にとどまらず西日本、全日本で活躍できる選手を輩出できるよう部員一同頑張っていきますので、女子チームにもご注目頂けると幸いです。

最後になりましたが、関西インカレ 5 日間たくさんの応援を頂き、ありがとうございます。本当に、力になりました。これからも変わらぬご声援の程よろしくお願い致します。



女子主将 西田文香

# 男子 結果

## 得点表

総合	男子2部	得点
	1 京都教育大	179
	2 龍谷大	121
	3 摂南大	115.5
	4 神戸大	61
	5 大阪産業大	53

トラック		得点
	1 京都教育大	97
	2 龍谷大	73
	3 摂南大	53
	4 大阪産業大	52
	5 大阪経済大	43
	7 神戸大	33

フィールド*		得点
	1 京都教育大	92.5
	2 摂南大	55
	3 龍谷大	54
	4 大阪国際大	22
	5 和歌山大	17
	6 神戸大	18

混成		得点
	1 京都教育大	18
	2 神戸大	10
	3 大阪府立大	7
	4 龍谷大	3

- 一部→二部降格

一部総合		得点
	11位 天理大学	24.5
	12位 大阪大学	22

種目	順位	氏名(学年)	記録	備考
100m		田中竣(4)	(予)11"13(+0.3)	
200m		田中竣(4)	(予)22"29(+0.0)(準)22"21(+0.3)	
		高橋一(4)	(予)22"76(-0.6)	
400m		菊井諒(2)	(予)50"74	
800m	1	植田悠貴(3)	(予)1'55"04(準)1'59"28(決)1'52"30	
		川植大輝(2)	(予)1'59"34	
1500m	7	藤田竣也(2)	(予)4'04"66(決)4'04"75	大学ベスト
	10	植田悠貴(3)	(予)4'03"44(決)4'09"79	
		濱野拳(2)	(予)4'04"30	
5000m	8	丸岡克成(3)	15'25"76	
	15	阿賀康生(4)	15'43"90	
	24	坂元亮介(2)	16'23"03	
10000m	5	阿賀康生(4)	31'33"84	
	11	日比鷹平(M2)	32'14"29	
	17	丸岡克成(3)	32'54"02	
ハーフマラソン	6	阿賀 康生(4)	1'09'31	
	21	丸岡 克成(3)	1'14'49	
110mH		宮崎晃一(2)	(予)15"24(-0.2)	
		大和祐己(3)	(予)15"75(+0.6)	自己新
400mH		藤原雅志(2)	(予)54"72	
		清水和輝(2)	(予)55"66	自己新
3000mSC	3	日比鷹平(M2)	9'14"67	自己新
	8	藤田竣也(2)	9'23"43	自己新
10000mW	4	山本祥平(4)	46'48"56	自己新
	8	岡野達哉(M1)	52'23"00	
4×100mR	7	宮崎(2)田中(4) 高橋(4)黒崎(4)	(予)42"10(決)41"91	
4×400mR		田中(4)植田(3) 藤原(2)菊井(3)	(予)3'19"81	
走高跳	10	佐野孝(4)	1m90	
棒高跳	8	吉田峻一(4)	4m00	
走幅跳	11	瀧瀬祥良(2)	6m67(-0.3)	
	12	永田遼(3)	6m59(+0.0)	
三段跳	2	瀧瀬祥良(2)	14m83(-1.0)	自己新
	4	永田遼(3)	14m58(-0.5)	
	8	山下雄大(4)	14m18(-0.6)	
砲丸投	9	上野環太(2)	11m54	
	12	吉田峻一(4)	10m83	
円盤投	5	上野環太(2)	38m01	自己新
	9	吉田峻一(4)	32m76	
	11	柳田隆光(2)	31m25	自己新
十種競技	3		6211	自己新
十種100m			11"15(+0.5)/827	自己新
十種走幅跳			6m68(+1.4)/739	大学ベスト
十種砲丸投			11m08/551	自己新
十種走高跳			1m70/544	
十種400m		宮崎晃一(2)	51"57/744	自己新
十種110mH			15"16(-0.7)/830	
十種円盤投			28m86/442	
十種棒高跳			3m00/357	
十種やり投			50m30/593	大学ベスト
十種1500m			4'55"82/584	大学ベスト
十種競技	5		5252	
十種100m			11"79(+0.5)/693	自己新
十種走幅跳			6m29(-1.1)/650	自己新
十種砲丸投			11m31/565	
十種走高跳			1m70/544	
十種400m		吉田峻一(4)	54"54/617	
十種110mH			16"67(-0.7)/659	
十種円盤投			28m42/433	
十種棒高跳			NM/0	
十種やり投			39m07/429	
十種1500m			5'08"08/514	

## 二部上位4校得点表詳細

	京教大	龍谷大	摂南大	神戸大
100m	8	0	10	0
200m	12	0	8	0
400m	2	4	0	0
800m	0	0	11	8
1500m	7	6	5	2
5000m	4	7	0	1
10,000m	0	6	0	4
ハーフマラソン	4	11	0	3
110mH	16+5	0	7	0
400mH	19	4	0	0
3000SC	0	9	4	7
10000m競歩	0	17	0	6
400R	8	4	6	2
1600R	7+5	5	2	0
トラックの部	97	73	53	33
走高跳	0	6	11.5	0
棒高跳	6	4	21	1
走幅跳	4	7	3	0
三段跳	0	3	4	13
砲丸投	15	13	6	0
円盤投	15+5	0	5	4
ハンマー投	6	9	5	0
やり投	13	3	7	0
フィールドの部	64	45	62.5	18
十種競技	13+5	3	0	10
総得点	179	121	115.5	61
順位	1	2	3	4

# 女子 結果

## 得点表

総合	女子	得点
1	立命館大	145.5
2	大阪成蹊大	118
3	武庫川女子大	80
4	園田学園女子大	74.5
5	甲南大	71.5
10	神戸大	27

トラック		得点
1	立命館大	108
2	大阪成蹊大	82
3	甲南大	57
4	武庫川女子大	42
5	大阪学院大	32
8	神戸大	23

フィールド		得点
1	大阪体育大	50
2	大阪成蹊大	40
3	武庫川女大	38
4	園田学園女子大	34
5	立命館大	30
12	神戸大	4

混成		得点
1	園田学園女子大	14
2	立命館大	7
3	東大阪大	6
4	大阪成蹊大	5
5	京都教育大	3



種目	順位	氏名(学年)	記録	備考
100m		宮崎仁美(2)	(予)12"91(-0.1)	
		高阪朱里(3)	(予)13"25(-0.4)	
200m		宮崎仁美(2)	(予)26"75(-0.1)	
400m	3	西田文香(4)	(予)55"70(準)54"70(決)55"17	
800m	4	米田香澄(3)	(予)2'15"90(準)2'17"33(決)2'15"31	自己新
	5	明瀬優香(2)	(予)2'15"02(準)2'14"37(決)2'15"57	自己新
		澤井喜百(2)	(予)2'18"46(準)2'23"36	
1500m		鈴木藍(3)	(予)5'06"95	
10000m	16	秋山穂乃果(4)	38'06"18	
100mH		宮崎仁美(2)	(予)14"51(+0.6)(準)14"60(-0.8)	
		森下奈菜(2)	(予)14"34(+1.7)(準)14"71(-0.4)	大学ベスト
400mH	2	西田文香(4)	(予)59"72(決)58"45	★学内新 自己新
		飯田優希(4)	(予)1'07"95	
4×100mR		飯田(4)西田(4)	(予)48"83	
		宮崎(2)森下(2)		
4×400mR		森下(2)西田(4)	(予)3'52"40	
		明瀬(2)米田(3)		
	8	森下(2)西田(4)	(決)3'51"36	
		米田(3)明瀬(2)		
走幅跳	10	藤井まりあ(3)	5m60(+1.5)	
三段跳	5	永久実伽子(M1)	12m06(-0.5)	
砲丸投	9	麓沙恵(2)	12m36	
円盤投	17	麓沙恵(2)	34m62	★学内新 大学ベスト

## 短距離① (100m、200m、110mH、100mH、400mリレー)

二日目(5/14)

・100mH 予・準

女子 宮寄仁美…14”51(予)  
14”64(準)  
森下奈菜…14”34(予)  
14”71(準)

・100m 予

男子 田中 竣…11”13(予)  
女子 宮寄仁美…12”91(予)  
高坂朱里…13”25(予)

・4×100mR 予

男子 宮崎・田中 … 42”10  
高橋・黒崎  
女子 飯田・西田 … 48”83  
宮寄・森下

三日目(5/15)

・110mH

男子 宮崎晃一…15”24(予)  
大和祐己…15”75(予)

四日目(5/16)

・200m 予・準

男子 田中 竣…22”29(予)  
…22”21(準)  
高橋 一…22”76(予)  
女子 宮寄仁美…26”75(予)

・4×100mR

男子 宮崎・田中 … 41”91 7位  
高橋・黒崎



200m 宮寄仁美



200m 高橋 一



4×100mR 高橋→黒崎



女子 4×100mR 宮寄→森下



男子 4×100mR 田中→高橋



110mH 大和祐己

## 新パート長 村田一立

今年の関西インカレでの短短パートの活躍はやはり実力不足としか言いようがない内容であったと思います。一昨年、昨年までは偉大な先輩方の活躍が特に目立ち二部の100m・200mにおいて優勝や準優勝を飾り、男子4×100mRにおいては40秒00の記録を打ち立てるなど輝かしい成績を収めただけあって今年の関西インカレで決勝に進むことができたのが男子4×100mRのみという非常に寂しい結果となってしまいました。

また、関西インカレA標準を突破することができたのも男子では200mの一人だけであり、完全な力不足と言わざるをえないと思います。しかしながら男子4×100mRでは決勝に残れるか不安な部分もあったが和歌山大学に競り勝ち着順での決勝進出したところではリレーメンバーの闘志を感じることができたと思います。

女子においては100m・200m・4×100mRすべてが予選落ちという結果に終わり、とても残念でありました。あと少しでも競り勝っていれば次のラウンドに上がれる種目もあっただけに悔しい思いを短短パート全員が抱いたかと思います。男女ともにA標準を突破した人数の少なさゆえに短短パートが決勝の舞台で走っている姿をほとんど見ることができなかったのは非常に残念であるとともに現役部員のさらなる努力を積み重ねないと関西インカレで活躍することができないと力の差を身に染みて感じました。

## 短距離②400m、400mH、マイルルー

二日目(5/14)

・400m 予・準

男子 菊井 諒…50”74(予)

女子 西田文香…55”70(予)

54”70(準)

三日目(5/15)

・400m 決

女子 西田文香…55”17 3位

・4×400mR 予

男子 田中・植田 … 3’19”81

藤原・菊井

女子 森下・西田 … 3’52”40

明瀬・米田

四日目(5/16)

・400mH

男子 藤原雅志…54”72(予)

清水和輝…55”66(予)

女子 西田文香…59”72(予)

飯田優希…1’07”95(予)

五日目(5/17)

・400mH 決

女子 西田文香…58”45 2位

・4×400mR 決

女子 森下・西田 … 3’51”36 8位

米田・明瀬



400m 西田文香 3位入賞!



女子 4×400mR 森下→西田のバトンパス



男子 4×400mR 藤原→菊井のバトンパス



400mH 西田文香 2位！



左:西田 2位おめでとうございます！



4×400mR 標準突破おめでとうございます！

## 新パート長 姜 俊奎

はじめまして。短長パート長を務めさせて頂く3回生の姜です。一年間よろしくお願ひします。

短長パートで言うと西田文香が400mで3位、400mhで2位、米田香澄が800mで4位、女子マイルが8位という結果でした。

女子マイルでは去年に引き続き全日本インカレの標準を切るなどとても素晴らしい成績を収めました。しかし残念ながら今年も短長男子から得点を取る人がでず、自分を含め短長パート全員がこれを重く受け止めています。今年男子では2回生の菊井が400mで出場するも予選落ち、2回生の清水が400mhで出場し、自己ベストを更新しましたが予選落ちし、男子マイルでは今のベストメンバーで挑むも決勝にあと一歩及ばず皆とても悔しい思いをしました。

しかし、短長パートは若い選手が多く、最近では自己ベストを更新しているものも多くなって神大陸上部の中では一番発展途上のパートだと感じています。この一年間はスピードアップ中心のメニューで全員のレベルの底上げをしたいと思います。来年の関カレでは短長パートで400m、400mh、マイルを組め、また一点でも多くの点数を獲得できるように尽力していこうと思います。西田先輩というエースがいなくても存在感のある短長パートにしていこうと思いますのでよろしくお願ひします。

## 中距離(800m、1500m)

二日目(5/14)

・1500m 予・決

男子 藤田竣也…4'04"66(予)

4'04"75(決) 7位

植田悠貴…4'03"44(予)

4'09"79(決) 10位

濱野 拳…4'04"30(予)自己新

女子 鈴木 藍…5'06"95(予)

四日目(5/16)

・800m 予・準

男子 植田悠貴…1'55"04(予)

1'59"28(準)

川植大輝…1'59"34(予)

女子 米田香澄…2'15"90(予)

2'17"33(準)

明瀬優香…2'15"02(予)

2'14"37(準)自己新

澤井喜百…2'18"46(予)

2'23"36(準)

五日目(5/17)

・800m 決

男子 植田悠貴…1'52"30 1位

女子 米田香澄…2'15"31 4位

明瀬優香…2'15"57 5位

小雨の中でのレースでした。



800m

左：米田香澄 4位！ 右：明瀬優香 5位！



800m 植田悠貴 1位！1500mの汚名返上！



1500m 藤田竣也 7位入賞！



植田悠貴 800m 優勝おめでとう！



1500m 濱野 拳 入賞に及ばずも自己新

ミドルパートはまだまだ人数も少なく発展途上のパートです。これからどのようにミドルパートが発展していくのか是非期待して頂けたら幸いです。

## 新パート長 植田悠貴

今回の関西インカレでのミドルの結果はまずまずといったところです。

まず 800m に関しては、男子は 3 人揃えることが出来なかったところが力不足であることを物語っています。点数としては植田(3)の優勝により 8 点があるものの、他が全く点に絡めないというのが現状です。女子は A 標準で米田・明瀬・澤井の 3 人揃えることが出来、米田・明瀬が決勝に残るという中距離種目では 1 番の出来だったと思います。(特に米田香澄は短長パートからの出場)

1500m に関しては、まず男子は決勝に藤田、植田が残り、残れなかった濱野もベストを更新するといういい流れで決勝を迎えられました。結局藤田(2)の 2 点に留まりました。

女子は A 標準を切る者がおらず、鈴木(3)だけの出場となりました。女子の 1500m は非常にレベルが高く、決勝進出はかなり厳しい種目です。この種目は A 標準を切り、いかに決勝に残るかをこれから考えていきたいと思えます。

## 長距離(5000M、10000M、ハーフマラソン、3000M障害)

一日目 (4/22)

・ハーフマラソン

阿賀康夫…1° 09'31" 6位

丸岡克成…1° 14'49" 21位

二日目(5/14)

・10000m 決

女子 秋山穂乃果…38'06"18 16位



5000m 丸岡克成 良く粘った！

三日目(5/15)

・5000m 決

男子 丸岡克成…15'25"76 8位

阿賀康生…15'43"90 15位

坂本亮介…16'23"03 24位



3000sc 院生の貫録を見せた日比鷹平

四日目(5/16)

・3000sc 障害 決

男子 日比鷹平…9'14"67 3位自己新

藤田竣也…9'23"43 8位自己新

五日目(5/17)

・10000mW 決

男子 山本祥平…46'48"56 3位

岡野達哉…52'23"00 8位

〇〇〇〇 途中棄権

・10000m 決

男子 阿賀康生…31'33"84 5位

日比鷹平…32'14"29 11位

丸岡克成…32'54"02 17位



10000m 右：阿賀康生 左：丸岡克成  
阿賀、根性で粘って見事5位入賞！





10000mW

左 清原隆広 残念ながら失格

右 岡野達哉 八位入賞！



10000mW 山本祥平 4位

ラストの追い上げは感動でした。



右:日比 表彰台おめでとうございます！

## 新パート長 丸岡克成

長距離は他の種目に先立って関西インカレハーフの部があり、今年は阿賀、丸岡の2人で先陣を切ることとなりました。例年以上の炎天下でスローペースのレース展開となりました。10キロ付近で丸岡が集団から取り残され、阿賀が入賞圏内の集団につき、最後で果敢なペースアップで6位入賞（関西インカレ初入賞）を果たしました。

トラック&フィールドの部では、全ての長距離種目において2人以上のメンバーを揃えて関西インカレに挑みました。まず、二日目の5000mの2組目では、丸岡が一度順位を落とすも、ラストスパートで抜き返し8位入賞を果たしました。

3日目の3000mSCにおいては、今年で最後となるM2回生の日比がクールなレース運びで、三位入賞・個人選手権標準記録突破という素晴らしい走りをしてくれました。最後の水壕を上位2人とほぼ同時に超えるという壮絶なレースでした。またタイムレース1組の中距離の藤田が最後の1周の大まくりで1位、全体で8位入賞したのも特筆されます。

4日目の10000mWでは、陸上経験一年半の山本が最後のデットヒートを制して4位、岡野が確実な歩きで8位入賞を果たしました。10000mでは、ハーフで入賞した阿賀が後半で追い上げ、見事5位入賞を果たしました。

今年は昨年に引き続き長距離種目全てにおいて得点することができましたが、得点者が一部の選手に偏りがちであり、底上げをして出場選手全員で得点できるチームになる必要があるように思いました

## フィールド(跳躍、投擲、混成)

二日目(5/14)

・十種競技…後半に記載

三日目(5/15)

・三段跳び

男子 瀧瀬祥良…14m83 2位  
永田 遼…14m58 4位  
山下雄大…14m18 8位  
女子 永久実加子…12m06 5位

・砲丸

女子 麓 沙恵…12m36 9位

四日目

・走り幅跳び

男子 瀧瀬祥良…6m67 11位  
永田 遼…6m59 12位

・走り高跳び

男子 佐野 孝…1m90 10位

・円盤

男子 上野環太…38m01 5位  
吉田峻一…32m76 9位  
柳田隆光…31m25 11位  
女子 麓 沙恵…34m62 17位

五日目

・棒高跳び

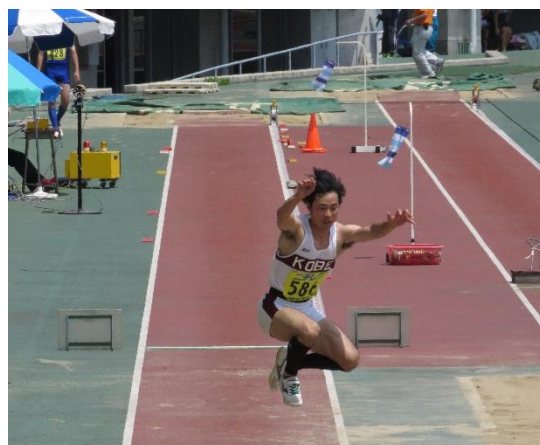
男子 吉田峻一…4m00 8位

・走り幅跳び

女子 藤井まりあ…5m60 10位

・砲丸投げ

男子 上野環太…11m54 9位  
吉田峻一…10m83 12位

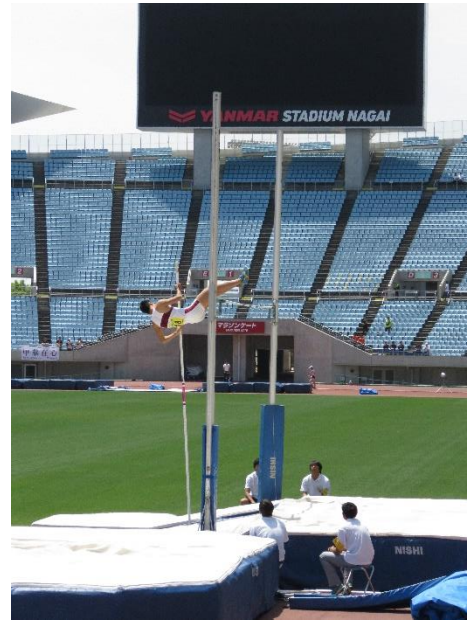


三段跳び

一枚目 瀧瀬祥良 2位！  
二枚目 永田 遼 4位！  
三枚目 山下雄大 8位！



走高跳び 佐野孝 数 cm 及ばず



棒高跳び 吉田峻一 8位入賞  
十種のリベンジ!



砲丸投げ 麓沙恵 入賞に一步及ばず。

二~三日目(5/14~5/15)

・十種競技

吉田峻一 5252点 5位

宮崎晃一 6211点 3位

・詳細



三段跳 永久実加子 5位

十種競技	3	宮崎晃一(2)	11"15(+0.5)/827
十種100m			6m68(+1.4)/739
十種走幅跳			11m08/551
十種砲丸投			1m70/544
十種走高跳			51"57/744
十種400m			15"16(-0.7)/830
十種110mH			28m86/442
十種円盤投			3m00/357
十種棒高跳			50m30/593
十種やり投			4'55"82/584
十種1500m			
十種競技	5	吉田峻一(4)	11"79(+0.5)/693
十種100m			6m29(-1.1)/650
十種走幅跳			11m31/565
十種砲丸投			1m70/544
十種走高跳			54"54/617
十種400m			16"67(-0.7)/659
十種110mH			28m42/433
十種円盤投			NM/0
十種棒高跳			39m07/429
十種やり投			5'08"08/514
十種1500m			



円盤投げ 上野環太 5位



十種 1500m 吉田峻一 ラスト種目！



十種 1500m 宮崎晃一 3位！  
多忙なスケジュールお疲れ様でした！



三段跳び 瀧瀬祥良 二位！  
表彰台おめでとうございます！

## 新パート長 永田 遼

今年度の関西 IC を振返ると、男子フィールドでは総合 18 点、混成で 10 点、女子フィールドは 4 点という結果でした。昨年男子はフィールドで得点する事が出来なかったということもあり、まだまだではありますが、大きな前進を遂げることができましたといえます。昨年の関西 IC 後から対校戦では中心的な活躍を見せ、メンバー一丸となって戦うことが出来ました。

種目毎に振返ると、まず男子三段跳では出場三人全員が入賞するという順調な滑り出し。しかし三人とも分析の時点からトップ 8 入りをしており、分析からは大きく得点を上げることは出来ませんでした。同日の女子三段跳では永久が昨年の雪辱を果たせず 5 位。女子砲丸投では麓沙恵が 9 位で惜しくも入賞を逃すという結果。この日に全競技が終了した男子十種競技では吉田、宮崎 2 人とも入賞という結果ですが、2 人とも途中競技でのミスがあり、納得のいく結果ではありませんでした。

しかし宮崎は合間を縫って 400Mリレーにも出場するなど、鬼気迫るガッツを見せてくれました。

翌日の男子走幅跳では永田、瀧瀬の出場二人とも予選落ち。私はランキング上位に位置していたのですが力を発揮できず非常に悔しい思いをしました。男子円盤投げでは上野が怪我からの復帰で自己新、5 位入賞を果たし、女子でも麓が砲丸投の悔しさをバネに自己新記録。入賞はかなわなかったものの良い結果であったと思います。男子走高跳では、佐野孝が 1m95 を惜しくも失敗。三度目の関西 IC で強く意気込んでいただけにとっても悔しい結果となりました。最終日は男子砲丸投で上野と吉田が出場、こ

ちらも得点が出来ず、厳しい結果に。女子走幅跳の藤井は昨年の入賞から一年、9位という結果で決勝を逃してしまいました。しかし男子棒高跳で吉田が4m00を一発クリア。これが8位となり1点を獲得。10種棒高の雪辱を果たしました。

以上のような結果で、上記のとおり悔しい結果となった部分が大半を占めています。OB・OGの皆様のご期待に添えない結果となってしまうました。来年度の関西ICに向けて、良かった点はさらに良くなるように、悔しい思いをする部員がいなくなるように最大限のパフォーマンスが発揮できるようにこれからの対校戦に臨んでいこうと思っています。来年の関西ICではフィールド総合3位入賞を目標として一年間努力していこうと思います。新入生を迎えこれからフィールドパートはさらに強くなっていきます。見守っていてください。お忙しい中応援に駆けつけてくださったOB・OGの皆様、本当にありがとうございました。

編纂にあたり、各パート長、幹部、OBOG様のご協力をいただきました。  
ありがとうございます。これからも何卒よろしく願いいたします。

---

発行：神戸大学陸上競技部

編集：OB報告 藤田直輝

写真協力

永久実加子 森勝也 鈴木藍 藤田直輝 井上敬太 佐々木真子

発行日

2015年5月30日